

オンラインを活用しよう

まだ収束が見えない新型コロナウイルス。多くの皆さまが感染拡大防止対策を工夫しているところですが、その中でも特に注目されているのが「オンライン」を使った取り組みです。

“オンライン”を使用する3つの魅力

1 いつでも、どこでも、だれでも参加できる

- ✓インターネットなどのネットワークが使用できる環境であれば、場所や時間を選ばず、また、感染リスクを大幅軽減しつつ、多数の参加者に情報を提供可能
- ✓遠く離れた場所にいる方や、会場に足を運ぶことが困難な方など、誰でも参加可能

2 参加者の意見や要望を多く集めることができる

- ✓備わっているチャット機能などを上手に使えば、参加者同士で、コミュニケーションがとれる
- ✓会場では、大勢の面前で質問するのを躊躇してしまう参加者も、気軽に質問や意見を出せる

3 準備にかかる手間やコストを削減できる

- ✓事前の会場設営や、開催後の撤去作業が不要
- ✓資料などのデータもシステム上で共有できるため、印刷不要

活用例紹介 ボーイスカウト調布第3団



オンラインを活用

活動内容についての打合せをオンラインで始めました

新入隊員を随時募集しています!

問合せ ボーイスカウト調布第3団 阿部郡委員長 boshu.cf3@gmail.com

コミュニティ推進協力員の皆さんにじよいなす作成にご協力いただきました



濱野さん 林田さん 林さん 佐藤さん 児島さん

詳細はこちらから!//

ちょみっと 公式HP
「新着情報・お知らせ」

有限会社バベ企画

緑と共に 家つくり 街つくり

〒182-0012
調布市深大寺東町6丁目2-1
TEL / 042-482-6654
FAX / 042-482-6680
mobile / 090-2433-7719

NPO法人 ちょうふこどもネット

NPO法人 ちょうふこどもネットは
~わりのままの自分で誰かとつながり、それをつなぎりを創
れる人を増やすことを意
図して活動しています。

田村産業有限会社

あなたの願うお葬式を総額見積にて安心対応!
お元気な時から、終活プラン
事前相談～事前契約
福祉葬
198,000円～
自宅葬
1日葬
298,000円～
花の家族葬
398,000円～
ご依頼・資料請求 ☎0120-255-297
1都5県24H365日対応
SOGI サポートセンター

有限会社バベ企画

緑と共に 家つくり 街つくり

〒182-0012
調布市深大寺東町6丁目2-1
TEL / 042-482-6654
FAX / 042-482-6680
mobile / 090-2433-7719

NPO法人 ちょうふこどもネット

NPO法人 ちょうふこどもネットは
~わりのままの自分で誰かとつながり、それをつなぎりを創
れる人を増やすことを意
図して活動しています。

田村産業有限会社

あなたの願うお葬式を総額見積にて安心対応!
お元気な時から、終活プラン
事前相談～事前契約
福祉葬
198,000円～
自宅葬
1日葬
298,000円～
花の家族葬
398,000円～
ご依頼・資料請求 ☎0120-255-297
1都5県24H365日対応
SOGI サポートセンター

地域活動にご活用ください

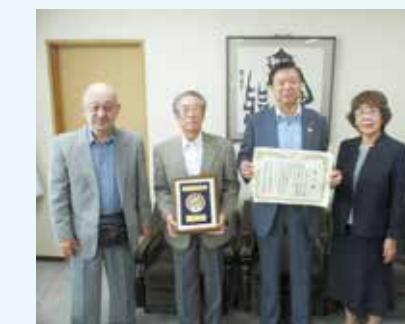
協働推進課では、自治会やサークルなどの地域活動団体を対象に、非接触式電子温度計の貸出を行っています。

是非ご活用ください。

問合せ 協働推進課
TEL : 481-7036

上ノ原まちづくりの会が 「全国地域安全運動中央大会」で 防犯功労団体表彰

上ノ原まちづくりの会は、平成16年5月に上ノ原小学校地区の地区協議会として設立されました。設立当初から毎日、通学路での旗振り・パトロールを実施し、不審者の目撃情報の減少に寄与するなどの地域貢献が認められ、表彰されました。

調布警察署長への表敬訪問の様子
(上ノ原まちづくりの会:吉見会長(中央)、長原副会長(右))市長への表敬訪問の様子
(上ノ原まちづくりの会:吉見会長(右)、長原副会長(左から2番目)、中山さん(左))

第7回調布まち活フェスタの開催が決定

調布まち活フェスタとは地域で活動する団体や個人の出演・発表を通じて、「市民活動のPR」や「市民活動への関わりのきっかけづくり」を行い、市民活動の更なる活性化を図るイベントです。今回は、オンラインを活用して開催します。

日 時 令和3年3月7日(日)
午前10時から午後3時まで問合せ 市民活動支援センター
TEL : 443-1220

じよいなす

地域活動情報紙 Vol.16

令和2(2020)年12月10日

発行:調布市 生活文化スポーツ部協働推進課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1

電話:481-7036 Eメール:komyuni@w2.city.chofu.tokyo.jp

地域活動応援特集号～コロナに負けるな！～

地域活動情報紙「じよいなす」は、市内の様々な分野で活動する市民団体や地域活動を紹介し、その魅力を市民の皆さんに発信している広報紙です。今号では、市内の様々な活動を取り組む団体や、その活動内容を紹介しています。

「じよいなす(join us)」とは、「参加しよう、一緒にやろう」という意味です。まずは、市内で活動している方々を知り、その取り組みに関心をもつことから始めてみませんか。



(写真) 新しい生活様式において様々な工夫をしながら活動している、各団体やお店などの代表の方々に、市民の皆さんに向けたアピールポイントを書いていただきました。



詳しい活動内容は ちよみっとへ

本紙に写真を掲載した、各市民団体やNPO法人、飲食店、施設などの、詳しい活動内容やコロナ禍での工夫した取り組みを、ちよみっと地域コミュニティサイト「ちよみっと」の各団体紹介ページに掲載しています。

スマートフォンをお持ちの方は、右のQRコードを読み取っていただくと、団体が一覧で表示されます。興味をもった団体を是非チェックしてみてください。

ちよみっと 公式HP [じよみっと取材団体紹介ページ]

市民団体や生涯学習サークル、地域のイベント情報などが検索できるインターネットのサイトです。

今回の取材では、一部の活動しか紹介できておりませんが、「ちよみっと」では、地域の情報を随時発信しておりますので、お気軽にご相談ください。

ちよみっと 検索

<https://communitysite.chofu-city.jp/>

自治会内でも支え合い

深大寺東第一自治会

地元を少しでも、安全で暮らし易くするために…

会長 佐々木 善信

まず顔を合わせお互いを知る。

様々な形の“きっかけ”が地域交流に繋がります。

緑化



防災



環境美化



自治会に加入しよう

自治会は、お住まいの地域をより良くしていくために、地域住民の皆さんによって自主的に形成された組織です。市内には約350の自治会が設立されており、お互いの協力のもと、防犯・防災の取り組みや、生活環境の向上、お祭りの開催など地域の共助効率向上を目指して、様々な活動が行われています。また、自治会に加入すると、行政や地域の情報を得ることができます。未加入の方は、この機会に是非自治会に参加してみてください。

問合せ 協働推進課 TEL: 481-7036



調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター



市民活動支援センター
公式HP

市民活動支援センター
公式Twitter

市民活動支援センター
公式LINE

DATe
開館時間 午前8時30分から午後10時まで
休館日 毎月第3月曜日・年末年始
(注)月曜日が祝日の場合は、翌平日が休館日
住所 国領町2丁目5-15
電話 443-1220

こんな時だからこそ市民活動

皆さん、お元気でお過ごしでしょうか。コロナ禍において一人ひとりが感染しない・させないの意識をもって日々の生活を送られていることと思います。

「新しい生活様式」という言葉が生まれ、生活のスタイルにも変化があるよう、ボランティア活動や市民活動を進める中でも、様々な対応が必要になります。「新しい活動様式」になってきています。

市民活動支援センターでも、利用できる机・椅子を縮減し、適度な距離を保てるようにするとともに、ご利用いただけたて、入館時の手指の消毒・マスクの着用・食事（おやつ）の禁止・利用設備の消毒作業をお願いしています。

また、センターでは、様々な事業を市民の皆さんとともに作り上げていますが、それらの事業も従来通りというわけにはいきません。「オンラインを活用してできないか」など、頭を悩ませる日々が続いているます。

コロナ禍において様々な活動が自粛されていましたが、少しずつ活動を再開されている様子もうかがえます。自粛期間中に薄れてしまった「つながり」を絶やすことなく「こんな時だからこそ」「新しい活動様式」を考え、今できることを進めていきましょう。センターも微力ながら応援していきます。

市民活動支援センター長 高木 直

お互いの「応援」で調布を元気に笑顔に

書いていただき、写真撮影し掲載しました。

また、取材した各市民団体や

飲食店、施設などの、本紙では紹介しきれない詳しい活動内

容や、「コロナ禍での取り組みについて、ちよみっと地域コミュニティサイト「ちよみっと」に掲載しています。

世界的に流行している新型コロナウイルスについて、日本では4月に緊急事態宣言が出され、半年以上が経過しました。3密の回避・マスク着用やこまめな手洗い・消毒の徹底など、皆が協力し、感染拡大防止対策に努めてきた自粛期間。調布を拠点に活動している市民団体やNPO法人、飲食店施設などは一体どのような工夫をしてこの状況を乗り越えているのでしょうか。

● 地域活動の自粛

コロナ禍においては、従来通りの地域活動ができるいないという現状があります。実際に、毎年開催しているお祭りなどの人が集まるイベントは、中止や規模の縮小を余儀なくされました。また、市民団体やサークルについても、参加人数を減らしたり、話し合いをオンラインで実施したりするなど、試行錯誤しながら活動しています。

● 感染拡大防止対策の工夫

他にも、利用者やお客様にマスク着用や手指消毒などの感染拡大防止対策をお願いするだけではなく、スタッフやお店側にもその工夫が求められています。

密閉・密集・密接のいわゆる「3密」を避けるような環境を確保することはもちろん、例えば、活動前の検温を義務付け、金員の健康チェックを行い、症状が見られる場合は無理をせず、自宅療養するよう声かけを行なうことも効果的な対策です。

今回取材した名市民団体や飲食店、施設なども、それぞれのやり方で、感染拡大防止対策を工夫されている様子が見られました。

本紙に写真を、「ちよみっと」に記事をそれぞれ掲載してあります。ただし、本紙を通じて、調布を拠点に活動している方々に記事をそれぞれ掲載していただくことで、感染が拡大しないようにするための行動指針です。

影響はすぐには無くなりません。一人ひとりが新しい生活様式を身につけて、各団体の感染対策に協力しながら、地域丸となり、市内で活動する方々を全力で応援していかなければなりません。

新ポイントを見て、興味をもった団体について、「ちよみっと」にアクセスし、詳しい活動内容やコロナ禍で工夫した取り組みなどを是非ご覧ください。

